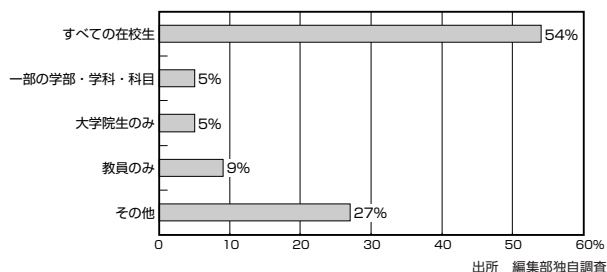
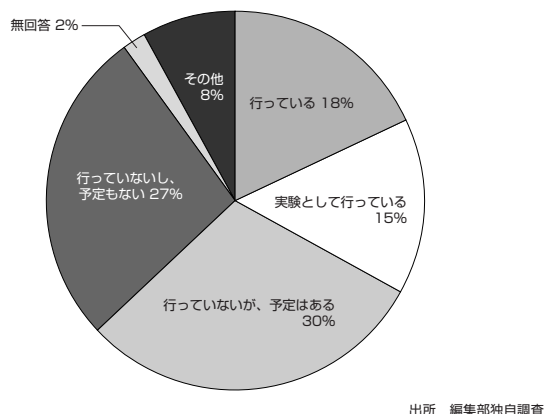


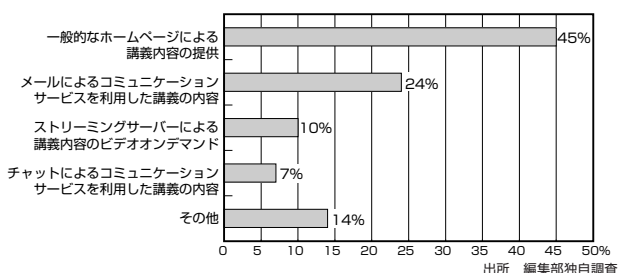
資料3-1-20 IDの取得資格



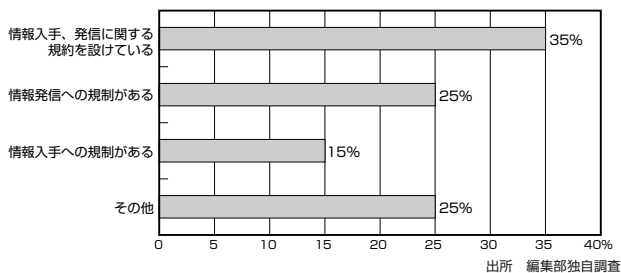
資料3-1-21 インターネットによる講義の提供



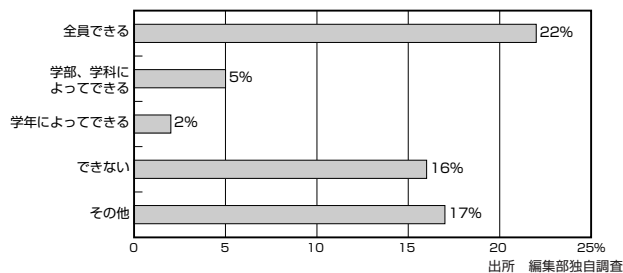
資料3-1-22 インターネットによる講義の提供内容



資料3-1-23 サーバーへのアクセス制限



資料3-1-24 学生ホームページ開設の可否



解説

インターネットの学内での利用

全ての在校生にインターネット利用を可能とする組織が圧倒的に多い(資料3-1-20)。大学院から利用可能とする組織の割合は、昨年度より減少し、学部の2、3、4年から利用可能とする組織は、昨年度と同様にほぼ皆無である。「その他」の回答では、職員の利用を挙げる組織が多い。

学生に対するガイダンスは82%の組織で実施されており、昨年度と同様、「講義で行う」「セミナーやオリエンテーション」「オンラインで提供」の方法が多く用いられている。

また、インターネットによる講義の提供を行う組織は、実験提供を含めて33%、今後予定する組織を含めると63%にいたる(資料3-1-21)。講義の提供方法は、ホームページやメールを用いる方法が多いが、ビデオオンデマンドでの講義の提供などを行う組織もある(資料3-1-22)。

インターネット利用に関する制約など

毎年、「今後のインターネット利用の課題」に最も多く回答されるのは「データや情報のセキュリティ」である。資料3-1-23では、各組織で行っているアクセス制限などをまとめている。規約を制定している組織が最も多く35%、次いで情報発信に規制を設けている組織が25%ある。昨年度は「制限なし」とする組織は17%だったが、今年度は、「その他」の中で7%程度にすぎない。また、資料3-1-24に示すように、学生がホームページを開設できる割合は昨年度から減少しており、なんからの制限を設けて開設可能とする「その他」の回答が増加している。

これらは、不正アクセス発生の有無に関する設問に対して、60%以上から「学外者から学内サーバーへの不正アクセスがあった」とする回答も影響していると考えられる。

(中山雅哉 東京大学情報基盤センター助教授)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)